仕　様　書

事　　業　　名	小規模崩壊地復旧事業	年　　度	令和８年度	番号	－
工　事　名　称	小規模崩壊地復旧工事(本郷町南方)	工　事　場　所	三原市本郷町南方		

仕様書

特　記　仕　様　書

第1章　総則

第1節　適用

1　本特記仕様書は、小規模崩壊地復旧工事(本郷町南方）に適用する。

2　本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

・土木工事共通仕様書（令和８年８月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）

・その他関連規格類

第2節　建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1　再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2　計画の掲示及び公表

受注者は、１の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3　実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から５年間保存しなければならない。

4　工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5　建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第３条第７項又は第４条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第１項、第16条第１項、第30条第１項又は第35条第１項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
イ 当該行為が盛土規制法第21条第１項、第27条第１項、第28条第１項又は第40条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後５年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
(2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
(4) 建設発生土の搬出量
(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後５年間保存するものとする。

13　建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する９（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後５年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1)　国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
(2)　受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
(3)　ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
(4)　９の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第3節　週休２日工事等

本工事は、「発注者指定型」による週休２日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休２日適用工事等実施要領（農林水産工事）」に基づき実施するものとする。

第2章　施工条件

第1節　安全対策

1　工事中の安全確保

建設機械施工安全技術指針は、国土交通省大臣官房技術調査課（令和3年3月）を参考とすること。

第2節　建設副産物

1　建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積））　（指定処分（Ａ））

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のいずれかに搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所　株式会社アヴァンセ沼田東町納所リサイクルプラント

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

第3節　その他

1 工事用機資材の仮置き

場所　受注者が責任をもって確保すること。

なお、借地料が発生した場合においては、受注者が負担すること。

2 法定外の労災保険 の付保

1　本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2　受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに 代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3　法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第3章　その他

第1節　本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節　事業名、施工年度、施工主体などを明示した銘板(200×150×10mm）について、文字等について承諾を受けて製作し、施工箇所に設置すること。

（参考）

小規模崩壊地復旧事業
（○○地区）
令和８年度
三　原　市
施工　(有)○○建設

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	備　　考
本工事費					
山腹工		式		1	レベル１
治山土工		式		1	レベル２
残土処理工	V=82m3	式		1	レベル３
積込		m3		56	レベル４
ダンプトラック運搬		m3		82	レベル４
処分費		m3		82	レベル４
法切工		式		1	レベル２
法切工	V=82m3	式		1	レベル３
土砂法切		m3		82	レベル４
法面工		式		1	レベル２
法枠工	A=268.1m2	式		1	レベル３
簡易法枠		m2		268.1	レベル４
吹付工	A=11.6m2	式		1	レベル３
モルタル吹付		m2		11.6	レベル４
銘板工		式		1	レベル２
銘板工	N=1枚	式		1	レベル３
堤名板		枚		1	レベル４

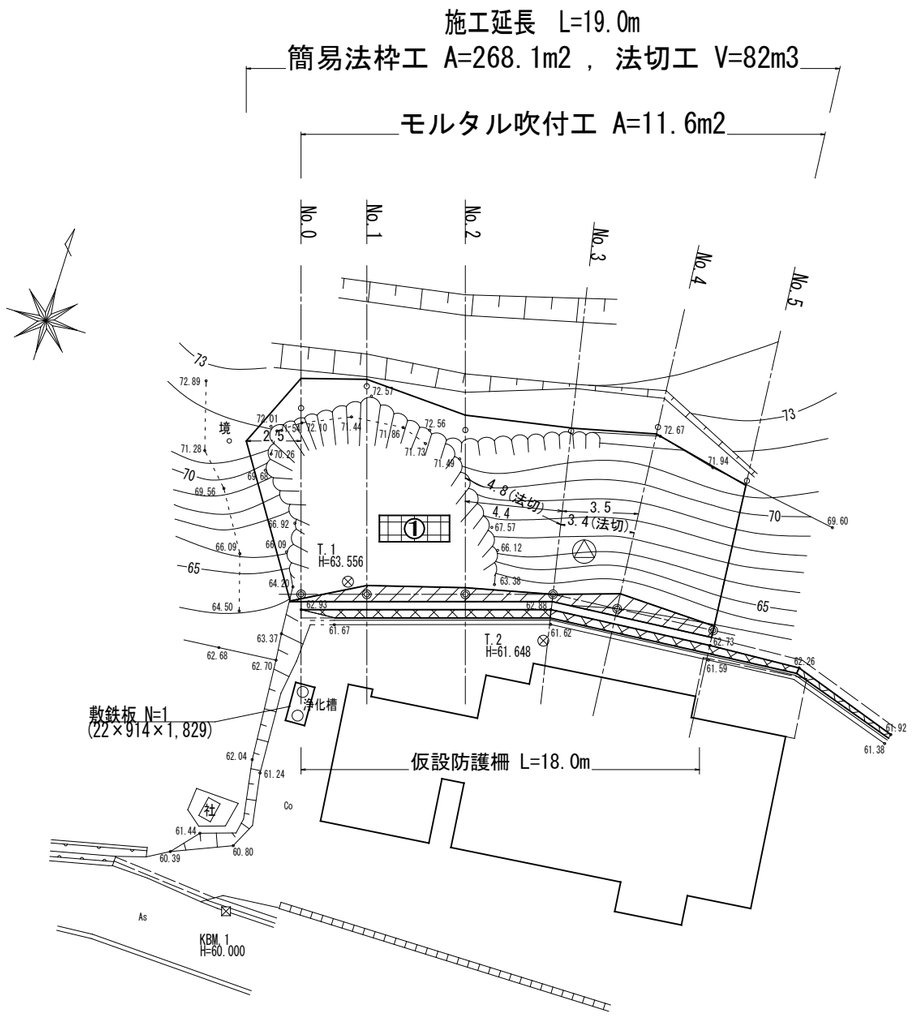
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	備　　考
仮設工		式		1	レベル１
仮設工		式		1	レベル２
防護施設工	L=18.0m	式		1	レベル３
仮設防護柵		式		1	レベル４
敷鉄板	N=1枚	式		1	レベル３
敷鉄板設置・撤去		式		1	レベル４
直接工事費					
運搬費					
運搬費		式		1	レベル２
運搬費		式		1	レベル３
仮設材運搬費		式		1	レベル４
共通仮設費率分額					
共通仮設費計					
（純工事費）					
現場管理費					
（工事原価）					
一般管理費率分					
契約保証費					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量（前回）	数量（今回）	備　　考
一般管理費計					
＊＊工事価格計＊＊					
＊＊消費税相当額計＊＊					
＊＊請負工事費計＊＊					

平 面 図　S=1/200



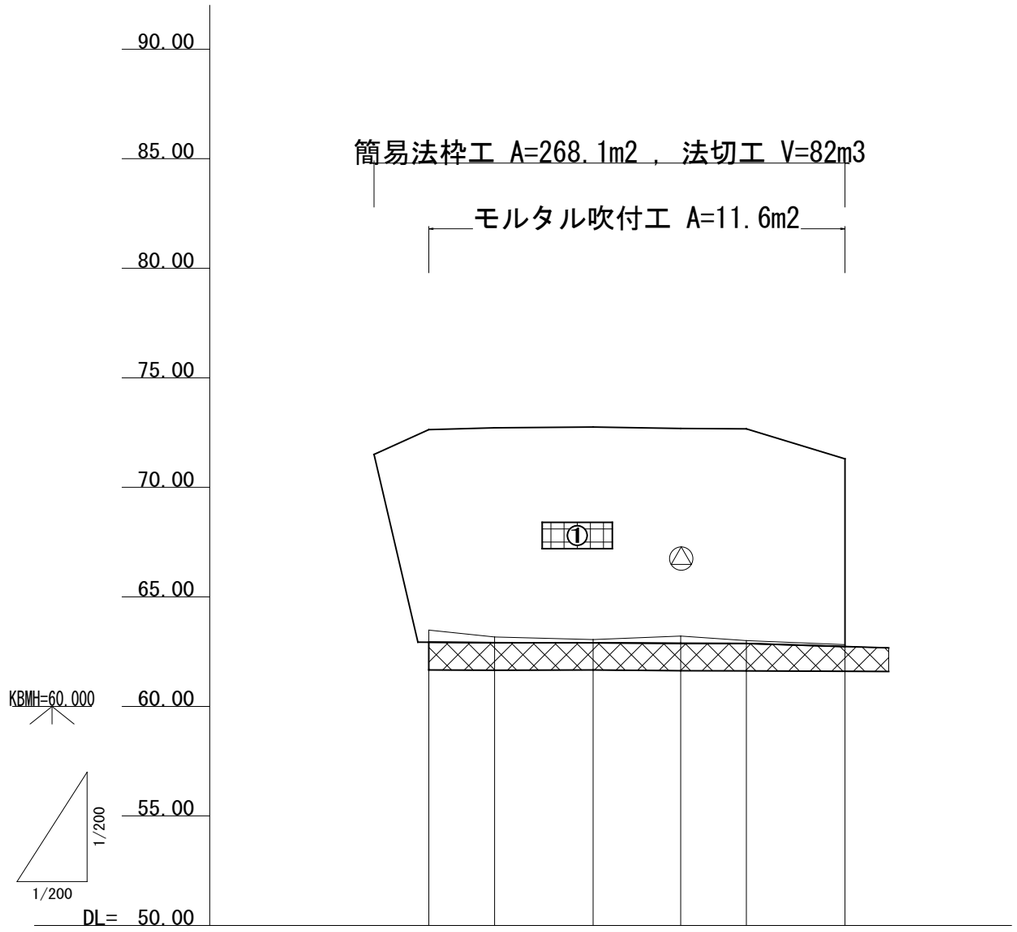
凡　例	
①	法枠工(簡易法枠工)
△	の り 切 工

S=1/200

0　5　10　15　20(m)

全 5 葉 中 1 番

年　度	令和 8 年度				
事 業 名	小規模崩壊地復旧　事業				
施 工 地	広島県 三原市 本郷町 南方 地区				
名　称	平　面　図				
図面番号	1 - 1	縮 尺	1/200		
施工主体	三　原　市				
課　長	課長補佐		係　長	設計者	
受託会社	(一社) 広島県森林協会				
主任技術者		設計		製図	測量

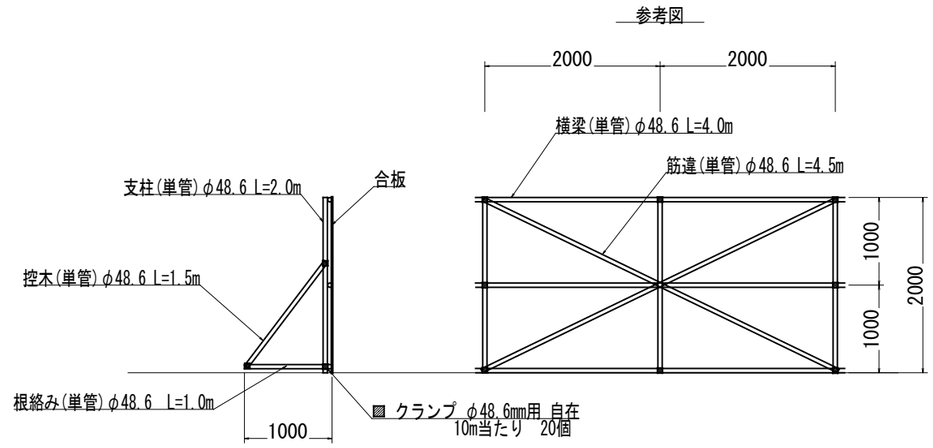


工作物高						
勾　配						
水路計画高						
計 画 高	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
地 盤 高	63.48	63.17	63.05	63.21	63.00	62.82
追加距離	0.00	3.00	7.50	11.50	14.50	19.00
区間距離	0.00	3.00	4.50	4.00	3.00	4.50
測　点	No.0	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5

仮設防護柵(単管)

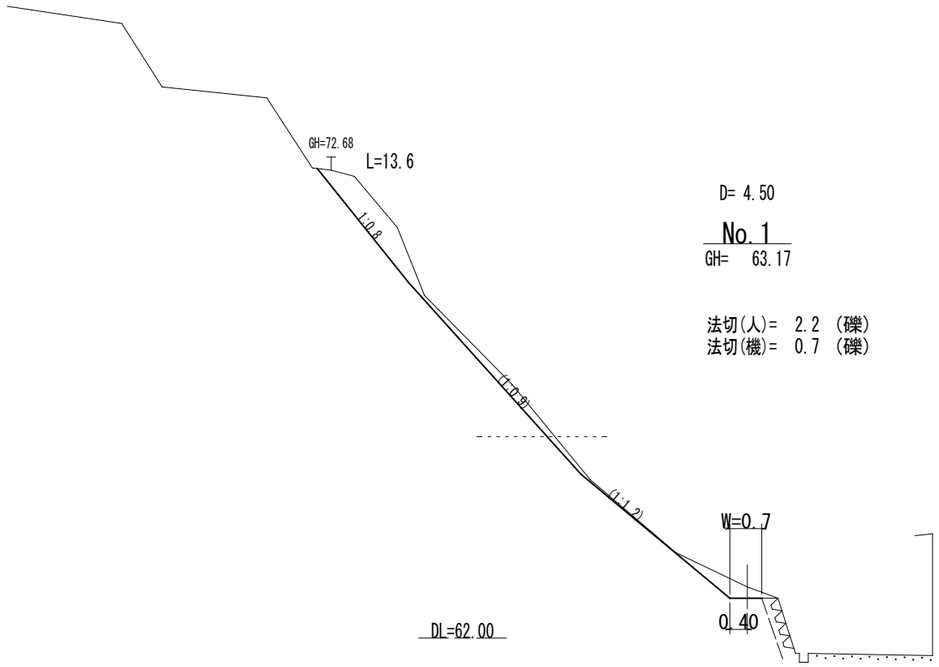
S=1/50

参考図



全 5 葉 中 2 番

年　度	令和 8 年度				
事業名	小規模崩壊地復旧　事業				
施工地	広島県 三原市 本郷町 南方 地区				
名　称	縦 断 面 図				
図面番号	1 - 1	縮 尺	縦1/200 横1/200		
施工主体	三 原 市				
課 長	課長補佐		係 長	設計者	
受託会社	(一社) 広島県森林協会				
主任技術者		設計		製図	測量

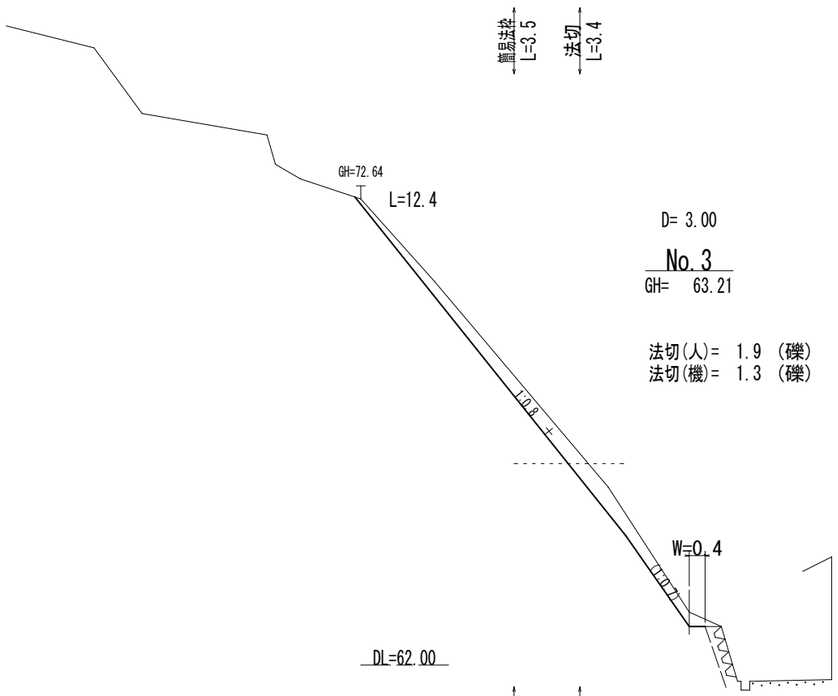


D= 4.50

No.1

GH= 63.17

法切(人)= 2.2 (礫)
法切(機)= 0.7 (礫)

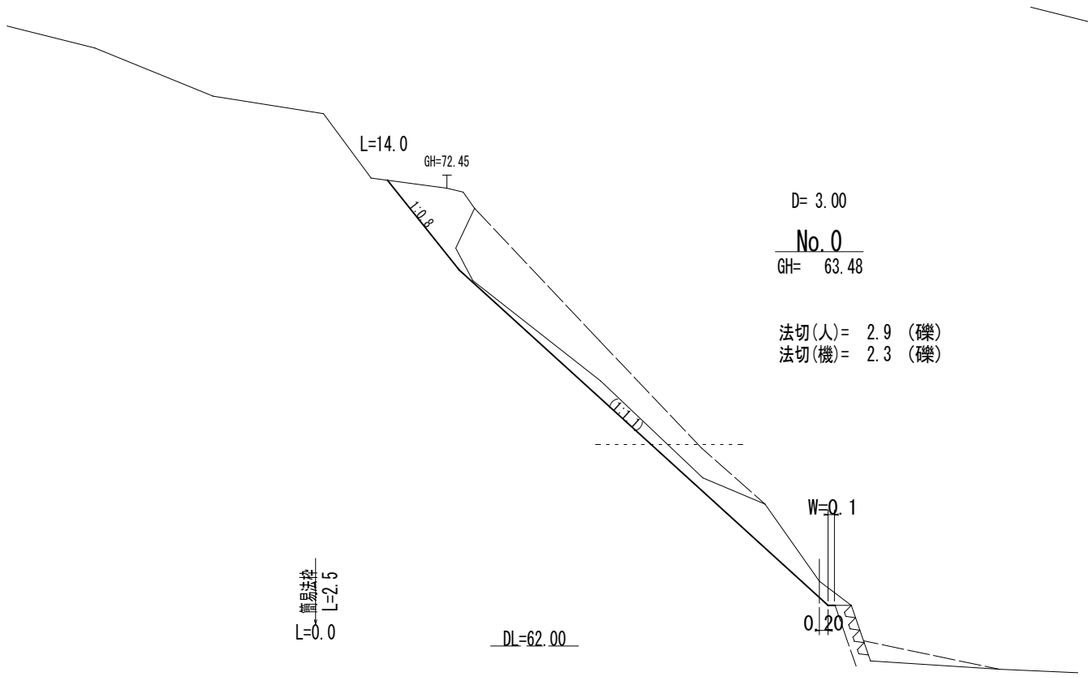


D= 3.00

No.3

GH= 63.21

法切(人)= 1.9 (礫)
法切(機)= 1.3 (礫)

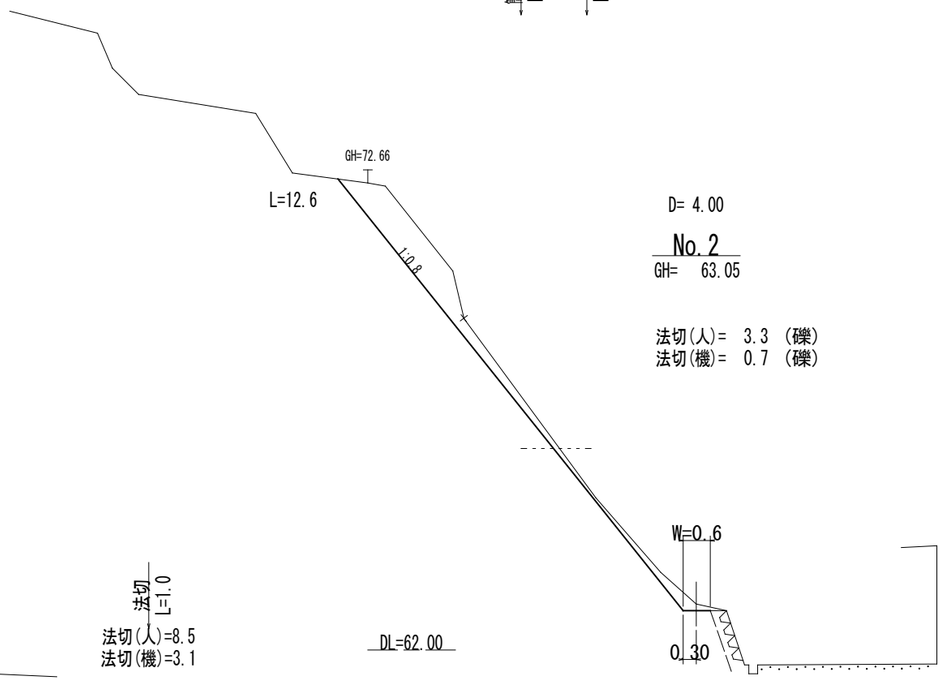


D= 3.00

No.0

GH= 63.48

法切(人)= 2.9 (礫)
法切(機)= 2.3 (礫)



D= 4.00

No.2

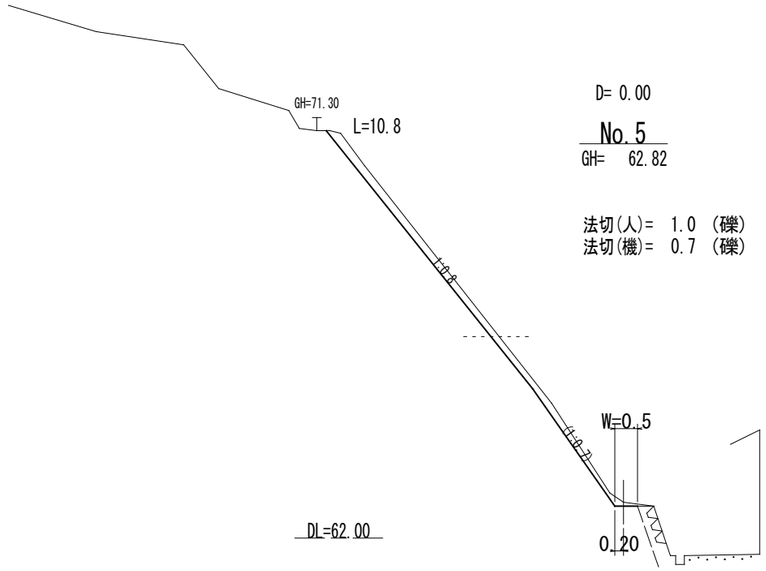
GH= 63.05

法切(人)= 3.3 (礫)
法切(機)= 0.7 (礫)

記号	工種
L	法枠工(簡易法枠工)
W	モルタル吹付(t=5cm)

全 5 葉 中 3 番

年度	令和 8 年度				
事業名	小規模崩壊地復旧 事業				
施工地	広島県 三原市 本郷町 南方 地区				
名称	横 断 面 図				
図面番号	2 - 1	縮尺	1/100		
施工主体	三 原 市				
課長	課長補佐		係長	設計者	
受託会社	(一社) 広島県森林協会				
主任技術者		設計		製図	測量

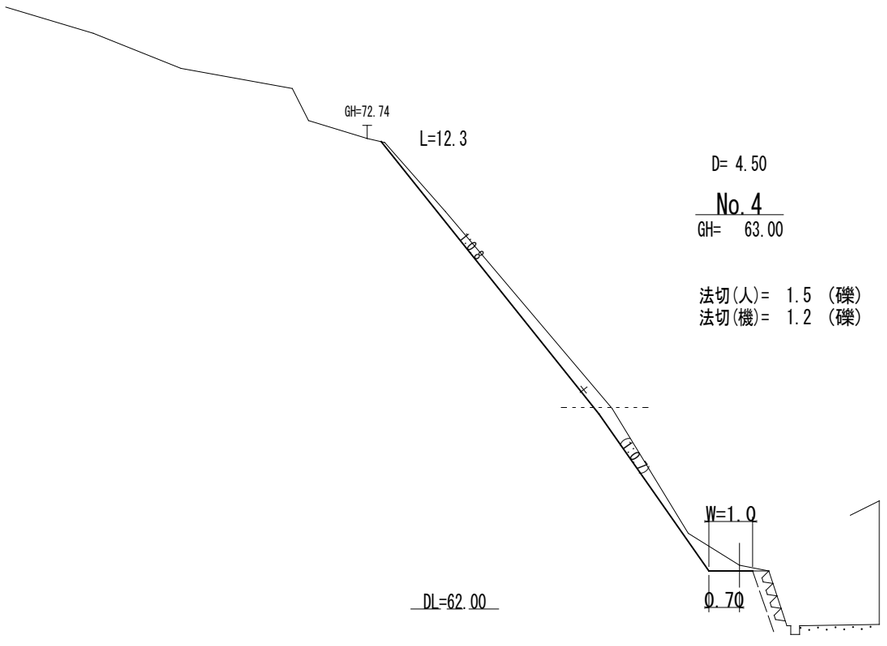


D= 0.00

No.5

GH= 62.82

法切(人)= 1.0 (礫)
法切(機)= 0.7 (礫)



D= 4.50

No.4

GH= 63.00

法切(人)= 1.5 (礫)
法切(機)= 1.2 (礫)

記号	工種
L	法枠工(簡易法枠工)
W	モルタル吹付(t=5cm)

全 5 葉 中 4 番

年度	令和 8 年度				
事業名	小規模崩壊地復旧 事業				
施工地	広島県 三原市 本郷町 南方 地区				
名称	横 断 面 図				
図面番号	2 - 2	縮尺	1/100		
施工主体	三 原 市				
課長	課長補佐		係長	設計者	
受託会社	(一社) 広島県森林協会				
主任技術者		設計		製図	測量

参　考　資　料

－小規模崩壊地復旧工事（本郷町南方）－

総括情報表

変更回数	0	
適用単価地区	65 三原市(本郷)	
単価適用日	00-08.10.01(0)	
諸経費体系	B 公共 (R01.06～)	

	当世代	前世代
工種区分	03 治山・地すべり工事	
復興補正区分	00 補正なし	
施工地域・工事場所区分	00 補正なし	
週休補正区分	11 閉所型・月単位	
緊急工事補正区分	00 通常工事	
積雪寒冷地補正	00 補正なし	
前払率（%）	40	
契約保証費区分	01 ０．０４％	
工事費端数区分	01 千円未満切捨て	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					
山腹工	1	式			レベル１
治山土工	1	式			レベル２
残土処理工 V=82m3	1	式			レベル３
積込	56	m3			レベル４
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)	56	m3			00 単第0 -0001 表
ダンプトラック運搬	82	m3			レベル４
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し　距離9.0km以下(7.0km超)	82	m3			00 単第0 -0002 表
処分費	82	m3			レベル４

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
※処分費等（直接工事費計上分）※ 「処分費等」の取扱いによる					
受入費 礫質土	82	m3			
法切工	1	式			レベル２
法切工 V=82m3	1	式			レベル３
土砂法切	82	m3			レベル４
のり切工（人力）	56	m3			00 単第0 -0003 表
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	26	m3			00 単第0 -0004 表
法面工	1	式			レベル２
法枠工 A=268.1m2	1	式			レベル３

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
簡易法枠	268.1	m2			レベル４
法面清掃工［簡易法枠（B）］	268.1	m2			00 単第0 -0005 表
ラス張工［簡易法枠］	268.1	m2			00 単第0 -0006 表
鉄筋・組立枠設置工［簡易法枠］ H=150	268.1	m2			00 単第0 -0008 表
アンカー工［簡易法枠（B）］ φ16　L=750mm 砂質土・礫混り土・玉石混り土	139	本			00 単第0 -0009 表
法枠吹付工（モルタル）［簡易法枠］	14.1	m3			00 単第0 -0010 表
植生基材吹付工(枠内吹付) 厚5cm [規]100m2以上250m2未満	116.4	m2			00 単第0 -0013 表
モルタル吹付工(枠内吹付) 厚7cm [規]100m2未満	33.5	m2			00 単第0 -0014 表
枠シート設置工［簡易法枠］	116.4	m2			00 単第0 -0015 表

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
吹付工 A=11.6m2	1	式			レベル３
モルタル吹付	11.6	m2			レベル４
モルタル吹付工 厚5cm [規]100m2未満	11.6	m2			00 単第0 -0016 表
銘板工	1	式			レベル２
銘板工 N=1枚	1	式			レベル３
堤名板	1	枚			レベル４
林道名板（A型・アルミ軽合金） ２００×１５０×１０㎜	1	枚			00
仮設工	1	式			レベル１
仮設工	1	式			レベル２

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
防護施設工 L=18.0m	1	式			レベル３
仮設防護柵	1	式			レベル４
仮設防護柵工（単管） 設置期間3ヶ月 H=2.0m	18.0	m			00 単第0 -0017　表
敷鉄板 N=1枚	1	式			レベル３
敷鉄板設置・撤去	1	式			レベル４
敷鉄板設置・撤去	2	m2			00 単第0 -0018　表
敷鉄板賃料 1枚(W=0.298t、A=1.67m2)	1	式			00 単第0 -0020　表
直接工事費					
運搬費					

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費	1	式			レベル２
運搬費	1	式			レベル３
仮設材運搬費	1	式			レベル４
仮設材（敷鉄板）運搬	1	式			00 単第0 -0021 表
共通仮設費率分額					
共通仮設費計					
（純工事費）					
現場管理費					
（工事原価）					

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格計＊＊					
＊＊消費税相当額計＊＊					
＊＊請負工事費計＊＊					

施工単価表

積込(ルーズ)　　SPK26040007　　単第0 -0001　表

土砂　　小規模(標準以外)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　21.20%　　労務構成比:　70.89%　　材料構成比:　7.91%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,957.8000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3	21.20%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3		MTPC00184 MTPT00184
運転手(特殊)	70.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂			B=5　小規模(標準以外)		

施工単価表

土砂等運搬　　SPK26040002　　単第0 -0002　表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間無し　距離9.0km以下(7.0km超)　1　m3　当り

機械構成比: 19.09%　労務構成比: 72.09%　材料構成比: 8.82%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 5,285.5000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 通称2t積級	19.09%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.82%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=37 距離9.0km以下(7.0km超)			B=6 バックホウ B容量0.13m3 D=1 DID区間無し		

のり切工（人力）

施 工 単 価 表

単第0 -0003 表

10 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	3.1	人			
諸雑費	2	%			
計	10	m3			
小計	1	m3			
A=1 法切前の斜面勾配_60度未満					

施工単価表

掘削　　SPK26040001　　単第0 -0004　表

土砂 上記以外(小規模)　　標準以外　　1　　m3　　当り

機械構成比:　21.20%　　労務構成比:　70.89%　　材料構成比:　7.91%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　2,870.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3	21.20%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3		MTPC00184 MTPT00184
運転手(特殊)	70.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=8　標準以外			B=5　上記以外(小規模)		

法面清掃工［簡易法枠（B）］

施 工 単 価 表

単第0 -0005 表

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.50	人			
法面工	1.40	人			
普通作業員	0.50	人			
諸雑費	15.00	%			
計	100	m2			
小計	1	m2			

ラス張工［簡易法枠］

施 工 単 価 表

単第0 -0006 表

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.7	人			
法面工	2.2	人			
普通作業員	0.9	人			
機-16_発動発電機運転 ディーゼル45kVA 排出ガス対策型3次基準	0.6	日			単第0-0007 表
ひし形金網<JISG3552> 亜鉛めっき鉄線(Z-GS2) 線径2.0,網目50mm	140.0	m2			
アンカーピン	30	本			
補助アンカーピン	150	本			
諸雑費	13	%			
計	100	m2			
小計	1	m2			
B=199 アンカーピン単価（円／本）			C=49 補助アンカーピン単価（円／本）		

施工単価表

機-16_発動発電機運転　　単第0 -0007　表

ディーゼル45kVA　　排出ガス対策型3次基準　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	31.00	L			
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量45kVA 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.71	供用日			
諸雑費	1	式			
小計	1	日			
A=8　ディーゼル45kVA C=1.71　機械賃料数量(供用日/日)			B=31　燃料消費量(L/日) D=4　排出ガス対策型3次基準		

施 工 単 価 表

鉄筋・組立枠設置工［簡易法枠］　　単第0 -0008　表

H=150　　100　m2　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
異形棒鋼<JISG3112> SD295,D10 単位質量0.56kg/m	0.188	t			
簡易法枠組立枠　Ｈ＝１５０ Ｗ＝３４０　Ｈ＝１４０　Ｌ＝４００	94.00	個			
土木一般世話役	0.50	人			
法面工	2.60	人			
普通作業員	0.50	人			
諸雑費	3.00	%			
計	100	m2			
小計	1	m2			
A=2　H=150 C=94　組立枠（100m2当り個数）			B=1　Ｄ１０ D=0.161　異型棒工（設計量）（100m2当りt数）		

施 工 単 価 表

アンカー工［簡易法枠（B）］　　単第0 -0009　表

φ16　L=750㎜　　砂質土・礫混り土・玉石混り土　　100　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
アンカー	100	本			
土木一般世話役	0.50	人			
法面工	1.90	人			
普通作業員	1.00	人			
諸雑費率	4.00	%			
計	100	本			
小計	1	本			
A=2　　H＝１５０			B=1　　砂質土・礫混り土・玉石混り土		

法枠吹付工（モルタル）［簡易法枠］

施 工 単 価 表

単第0 -0010 表

10 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	5.46	t			4.2*1.3
コンクリート用砂 荒目(洗い)	16.12	m3			12.4*1.3
土木一般世話役	1.60	人			
法面工	3.20	人			
特殊作業員	3.20	人			
普通作業員	3.20	人			
モルタル用繊維補強材	13.30	kg			
機-15_モルタルコンクリート吹付機運転 湿式・モータ駆動 能力0.8～1.2m3/h	11.20	時間			単第0-0011 表
ホイールローダ運転（賃料・法枠吹付工） ホイールローダ ０．３４m3	1.60	日			単第0-0012 表
諸雑費	19.00	%			
計	10	m3			
小計	1	m3			

法枠吹付工（モルタル）［簡易法枠］

施 工 単 価 表

単第0 -0010 表

10 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A=1 砂 C=1 【F】補強繊維(kg)			B=2 補強繊維有り D=13.3 補強繊維数量(kg/10m3)		

施 工 単 価 表

機-15_モルタルコンクリート吹付機運転　　単第0 -0011　表

湿式・モータ駆動 能力0.8～1.2m3/h　　1　時間　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
モルタルコンクリート吹付機(法面用) 湿式 吐出量0.8～1.2m3/h所要空気量10～19m3/min	1.00	時間			
諸雑費	1	式			
小計	1	時間			
A=1　湿式・モータ駆動 能力0.8～1.2m3/h					

施 工 単 価 表

単第0 -0012 表

ホイールローダ運転（賃料・法枠吹付工）

ホイールローダ　０．３４m3　　1　日　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
運転手(一般)	0.80	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.00	L			
<賃>ホイールローダ 普通,山積0.34m3 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.58	供用日			
諸雑費	1	式			
小計	1	日			

施 工 単 価 表

植生基材吹付工(枠内吹付)　　単第0 -0013　表

厚5cm　　[規]100m2以上250m2未満　　1　m2　当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
植生工(機械播種施工)【材工共】 植生基材吹付工 厚5cm	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
小計	1	m2			
A=3　厚5cm D=1　-			B=4　[規]100m2以上250m2未満 E=2　枠内吹付の場合		

施 工 単 価 表

単第0 -0014 表

モルタル吹付工(枠内吹付)

厚7cm [規]100m2未満 1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モルタル吹付工【材工共】 厚7cm	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
小計	1	m2			
A=3 厚7cm E=2 枠内吹付の場合			B=5 [規]100m2未満		

枠シート設置工［簡易法枠］

施 工 単 価 表

単第0 -0015 表

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面工	1.50	人			
シート材料	42.30	枚			
諸雑費率	10.00	%			
計	100	m2			
小計	1	m2			
A=64.5 シート単価			B=42.3 シート枚数		

施 工 単 価 表

単第0 -0016 表

モルタル吹付工

厚5cm [規]100m2未満 1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モルタル吹付工【材工共】 厚5cm	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
小計	1	m2			
A=1 厚5cm E=1 -			B=5 [規]100m2未満		

施 工 単 価 表

仮設防護柵工（単管）　　単第0 -0017　表

設置期間3ヶ月　　H=2.0m　　10　m　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
支柱 単管（外径48.6mm L=2.0m） 5本×2.0m=10.0m	5.00	本			
横梁 単管（外径48.6mm L=4.0m） 7.5本×4.0m=30.0m	7.50	本			
控木 単管（外径48.6mm L=1.5m） 5本×1.5m=7.5m	5.00	本			
筋違 単管（外径48.6mm L=4.5m） 5本×4.5m=22.5m	5.00	本			
根絡み 単管（外径48.6mm L=1.0m） 5本×1.0m=5.0m	5.00	本			
シート損料 3.6×5.4m	20.00	m2			
合板 12×900×1,800mm	20.00	m2			
土木一般世話役 設置・撤去	0.49	人			
普通作業員 設置・撤去	2.45	人			
諸雑費	10	%			
計	10	m			
小計	1	m			

敷鉄板設置・撤去

施 工 単 価 表

単第0 -0018 表

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.152	人			
とび工	0.152	人			
普通作業員	0.152	人			
機-28_バックホウ(クローラ型)運転 クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3	0.152	日			単第0-0019 表
土木一般世話役	0.143	人			
とび工	0.143	人			
普通作業員	0.143	人			
機-28_バックホウ(クローラ型)運転 クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3	0.143	日			単第0-0019 表
諸雑費	1	%			
計	100	m2			
小計	1	m2			
A=1 設置・撤去					

施 工 単 価 表

機-28_バックホウ(クローラ型)運転
クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3

単第0 -0019 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	119.00	L			
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.06	供用日			
諸雑費	1	式			
小計	1	日			
A=19 クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3 C=1 運転労務数量(人/日)			B=119 軽油消費量(L/日) D=1.06 機械賃料数量(供用日/日)		

施 工 単 価 表

単第0 -0020 表

敷鉄板賃料

1枚(W=0.298t、A=1.67m2)　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
(賃料)鋼板 22×914×1829,289kg/枚 90日以内	1	枚・日			
(賃料)鋼板 22×914×1829,289kg/枚 整備費	1	枚			
諸雑費	1	式			
小計	1	式			

仮設材（敷鉄板）運搬

施 工 単 価 表

単第0 -0021 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基本運賃 往路 製品長 12m以内 運搬質量 0.289t	1	式			単第0-0022 表
基本運賃 復路 製品長 12m以内 運搬質量 0.289t	1	式			単第0-0023 表
積込み,取卸しに要する費用	1	式			単第0-0024 表
小計	1	式			

施 工 単 価 表

単第0 -0022 表

基本運賃

往路　　製品長 12m以内 運搬質量 0.289t　　1　式　当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基本運賃	1.000	式			
t当り基本運賃	0.289	t			
小計	1	式			
A=1 基本運賃 C=1 12m以内			B=4.6 運搬距離(km) D=0.289 運搬質量(t)		

施 工 単 価 表

基本運賃　　単第0 -0023　表

復路　　製品長 12m以内 運搬質量 0.289t　　1　式　当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基本運賃	1.000	式			
t当り基本運賃	0.289	t			
小計	1	式			
A=1 基本運賃 C=1 12m以内			B=4.6 運搬距離(km) D=0.289 運搬質量(t)		

積込み,取卸しに要する費用

施 工 単 価 表

単第0 -0024 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材積込み費（基地）	0.289	t			
仮設材取卸し費（現場）	0.289	t			
仮設材積込み費（現場）	0.289	t			
仮設材取卸し費（基地）	0.289	t			
小計	1	式			
A=5 積込み,取卸しに要する費用 K=1 基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			D=0.289 運搬質量(t)		

三原市　本郷町　南方　地区

数量総括表

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4			数量	単位	備　　考
山腹工	治山土工							
		残土処理工						
			積込	礫質土	法切(人力)	56	m3	バックホウ0.13m3積込(ルーズ)
			残土運搬	礫質土		82	m3	ダンプトラック2t 運搬距離 L=8.0km　　56(人力) +26(機械) = 82
			処分費	礫質土		82	m3	
	法切工							
		法切工						
			法切	人力	礫質土	56	m3	機械積込別途　バックホウ0.13m3積込(ルーズ)
			法切	機械	礫質土	26	m3	バックホウ0.13m3掘削積込(地山)
	法面工							
		法枠工						
			簡易法枠工	法面清掃工		268.1	m2	
				ラス張工	#14 50×50mm	268.1	m2	
				鉄筋・組立枠設置工	H=150	268.1	m2	
				アンカー工(礫質土)	D16 L=750mm	139	本	268.1 / 100 × 52 =　　139
				法枠吹付工	モルタル	14.1	m3	268.1 / 100 × 5.27 =　　14.1
				枠内吹付工				268.1 / 100 × 55.9 =　149.9
					植生基材(t=5cm)	116.4	m2	3段目以上　　149.9-33.5 =　　116.4
					モルタル吹付(t=7cm)	33.5	m2	1段目・2段目　　19.0/1.5×2段×1.15×1.15=　　33.5
				枠シート設置工	1,150×1,150mm	116.4	m2	

三原市　本郷町　南方　地区

数量総括表

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4			数量	単位	備　　考
		吹付工						
			モルタル吹付	t=5cm		11.6	m2	
	銘板工							
		銘板工						
			堤名板	林道銘板	A型200×150×10	1	枚	
仮設工	仮設工							
		防護施設工						
			仮設防護柵	H=2.0		18.0	m	平面図より
			敷鉄板	22×914×1,829		1.0	枚	

三原市　本郷町　南方　地区

法　切　工　数 量 計 算 表

測点名	距離	法　切 人力・礫質土				法　切 機械・礫質土							
		修正距離	断面	平均	体積	修正距離	断面	平均	体積	修正距離	断面	平均	体積
	(m)	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	(m)	(m2)	(m2)	(m3)	(m)	(m2)	(m2)	(m3)
			0.0				0.0						
		1.5	8.5	4.25	6.4	1.5	3.1	1.55	2.3				
No.0	0.0	1.0	2.9	5.70	5.7	1.0	2.3	2.70	2.7				
No.1	3.0		2.2	2.55	7.7		0.7	1.50	4.5				
No.2	4.5		3.3	2.75	12.4		0.7	0.70	3.2				
No.3	4.0	4.8	1.9	2.60	12.5	4.8	1.3	1.00	4.8				
No.4	3.0	3.4	1.5	1.70	5.8	3.4	1.2	1.25	4.3				
No.5	4.5		1.0	1.25	5.6		0.7	0.95	4.3				
合計	19.0				56.1				26.1				
設計数量					56				26				

三原市　本郷町　南方　地区

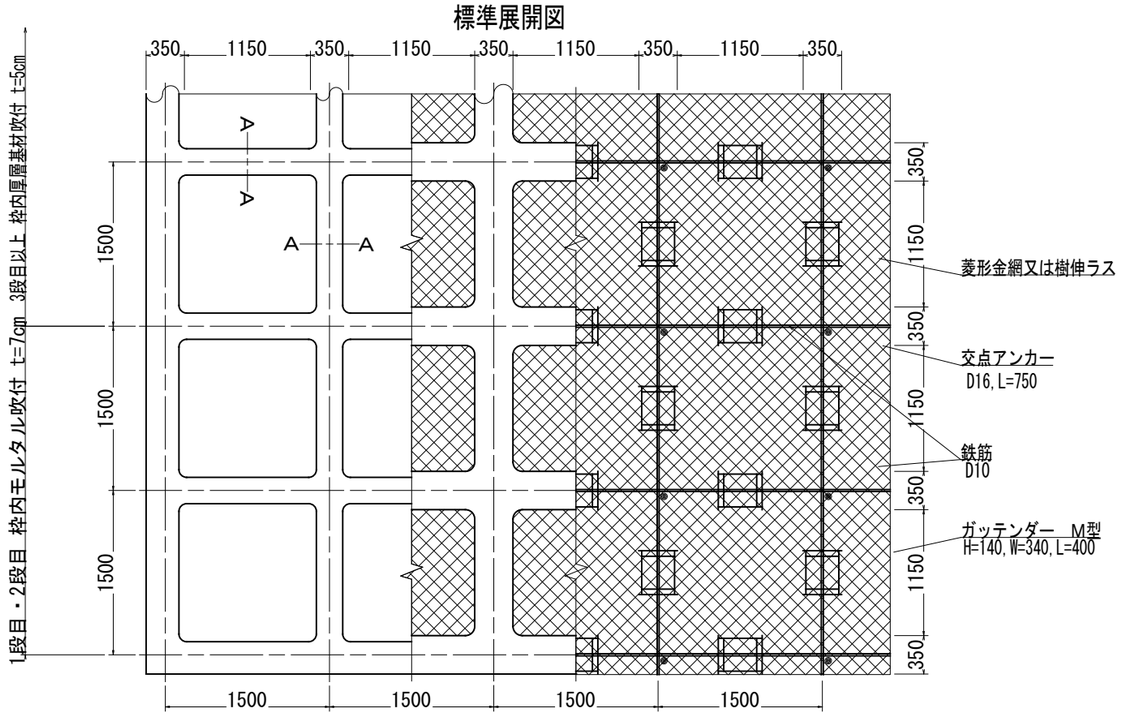
法　面　工　数 量 計 算 表

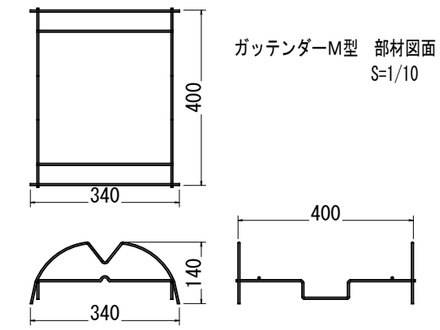
測点名	距離	簡易法枠(L)				吹付工(W) モルタル吹付 t=5cm							
		修正距離	断面	平均	面積	修正距離	断面	平均	面積	修正距離	断面	平均	面積
	(m)	(m)	(m)	(m)	(m2)	(m)	(m)	(m)	(m2)	(m)	(m)	(m)	(m2)
			0.0										
No.0	0.0	2.5	14.0	7.00	17.5		0.1						
No.1	3.0		13.6	13.80	41.4		0.7	0.40	1.2				
No.2	4.5		12.6	13.10	59.0		0.6	0.65	2.9				
No.3	4.0	4.4	12.4	12.50	55.0		0.4	0.50	2.0				
No.4	3.0	3.5	12.3	12.35	43.2		1.0	0.70	2.1				
No.5	4.5		10.8	11.55	52.0		0.5	0.75	3.4				
合計	19.0				268.1				11.6				
設計数量					268.1				11.6				

簡易法枠工標準施工図 S=1/40

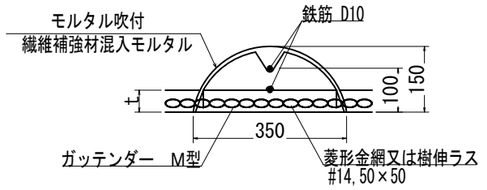
（Mタイプ 1500×1500）　単位mm

標準展開図

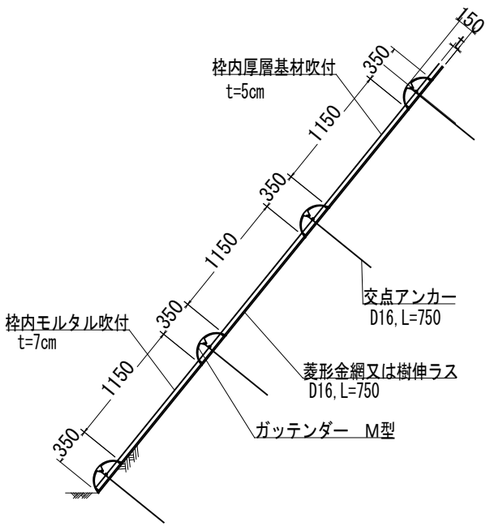




A - A 断面 S=1/10



標準断面図



使 用 材 料 表

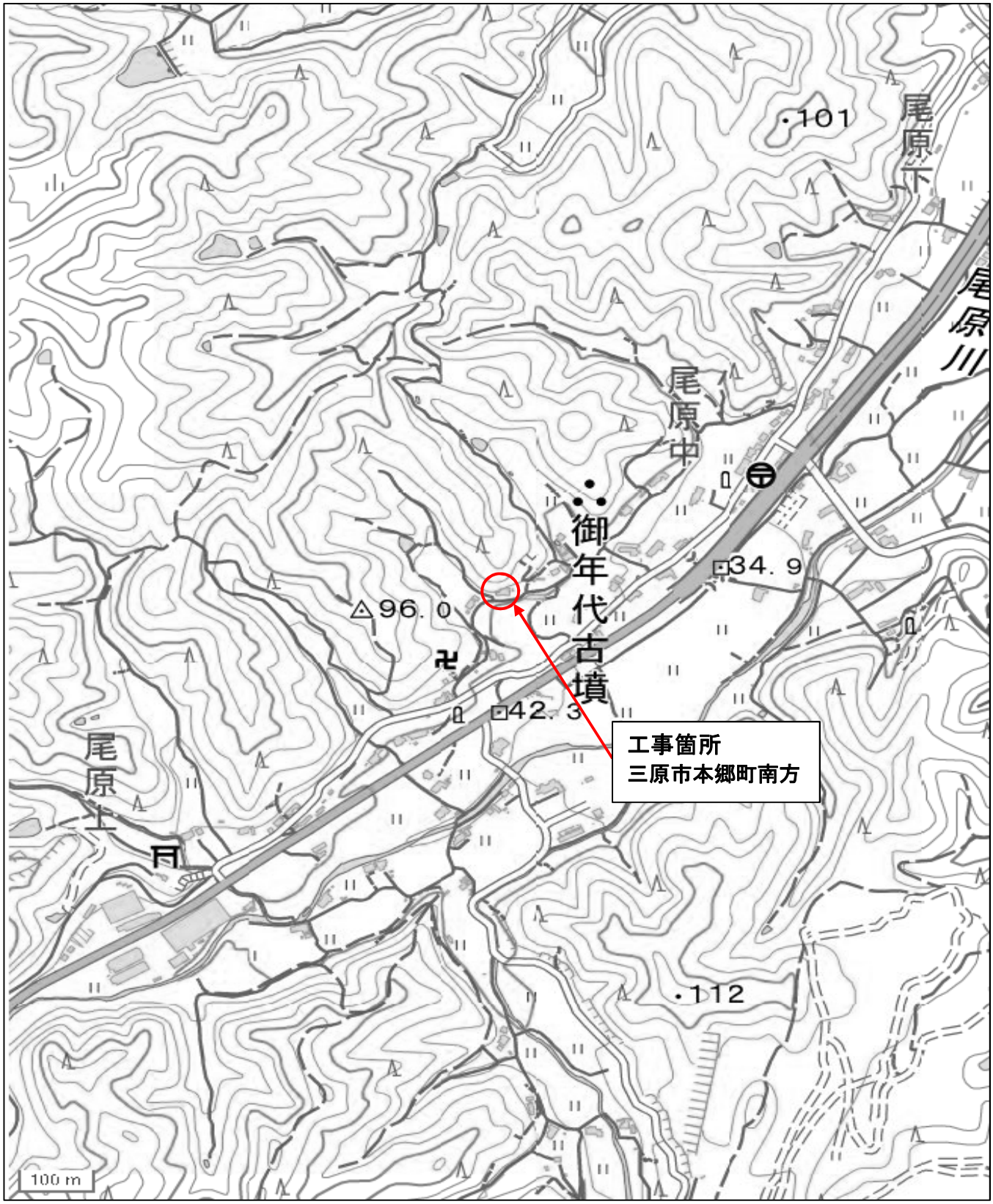
Mタイプ1500×1500
枠内モルタル t=7cm, 枠内厚層基材 t=5cm　　100m2当たり

材　料　名	規　　格	単位	数　量	割増率
ラス網	#14, 50×50	m2	140.0	40%
ラス用アンカー	φ16, L=400	本	30	
ラス用補助アンカー	φ 9, L=200	本	150	
鉄筋	D10	kg	188.8	17%
主アンカー（交点）	D16, L=750	本	52	
組立枠	ガッテンダーM型 W=340, H=140, L=400	個	94	
枠モルタル吹付		m3	5.27	
枠内厚層基材吹付	t= 5cm	m2	55.9	
枠内モルタル吹付	t= 7cm			

年　度	令和 8 年度				
事業名	小規模崩壊地復旧　事業				
施工地	広島県 三原市 本郷町 南方 地区				
名　称	簡易法枠工構造図				
図面番号	1－1	縮尺	図示		
施工主体	三　原　市				
課　長	課長補佐		係　長	設計者	
受託会社	（一社）広島県森林協会				
主任技術者		設計		製図	測量

位 置 図

（34.396589,132.944979 ）



この図は、国土地理院地図を使用したものである。